

こころの覚書

生きている中で感じたことで
す

tomo4307

目次

あり得ないこと	1
人の心	2
策士策に溺れる	3
嘘	5
欲	6
床ずれ	7
天網恢恢疎にして漏らさず	8
母が教えてくれた大切なこと	8
「老子」兵法の極意	10
君子は義にり、小人は利に喩る	12
おかあさんって	12
行動	13
裏切らないということ	14
友情	16
この国の正義を信じる	17
偶然を装った必然	18
自ら之を取る	19
車酔い	20
「みんなこれ飲んでますよ」	24

ライスバーガー・・・・・・・・・・	26
トム・リプレー・・・・・・・・・・	29
とあるサスペンス劇場・・・・・・・・	31
へムへムな男・・・・・・・・・・	32
総務の女性・・・・・・・・・・	35
最後の動画・・・・・・・・・・	37
最後の料理・・・・・・・・・・	38
正義は勝たなければならない・・	40
悪人が存在するからこそ・・自らが正気であると知る・・	41
母のいない母の日・・・・・・・・	42
人生は感動ですからね・・・・・・・・！	43
強くなければ、正しくなれない・・	45
正義を愛する心・・・・・・・・・・	46
強いということ・・あるいは・・勇気ということ・・	47
其の揆一なり・・・・・・・・・・	48

あり得ないこと・・・・。

60年近く生きてきた・・・・。

色んなことがあった・・・・。

イジメ・・・・、

引きこもり・・・・、

ニート・・・、

などなど・・・。

しかしそんなことは序ノ口である・・・。

詳しくは書かないが・・・、

「こんなことが現実社会にあるのだろうか・・・？」

「これは妄想の産物なのではないか・・・？」

そんなことが少なくない・・・。

私も最近そんなことを経験した・・・。

しかし其れは私だけではないだろう・・・。

多くの方が程度の差こそあれ・・・、

経験していることだと思う・・・。

本当に・・・、

いくつになっても・・・、

世の中のことはわからないものである・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

人の心・・・。

「ころころころころまどわすころころなれ　ころころころに　ころころゆるすな・・・。」

そんなことを読んだことがある・・・。

心というものは・・・、

わからないものである・・・。

自分の心すらわからないのに・・・、

他人の心などわかろうはずもない・・・。

しかし・・・、

たぶん・・・、

それがいいのだと思う・・・。

若し他人の心がわかるとすれば・・・、

我々は生きていくことが出来ない・・・。

私はそう思う・・・。

だから・・・、

人の心は・・・、

わからないほうがいいのである・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

策士策に溺れる・・・。

「策士策に溺れる・・・。」

という言葉は・・・、

多くの人が知っている・・・、

或いは聞いた事があると思う・・・。

正確な意味はわからないし・・・、

出典すらわからない・・・。

ただ・・・、

何となくわかる気もする・・・。

下手に何か画策すると・・・、

かえって失敗する・・・。

放って置いて・・・、

成り行き任せにするほうが・・・、

結果オーライであることが多々ある・・・。

直向きに・・・、

誠実に・・・、

正直に・・・、

謹厳実直に生きるほうが・・・、

結果がいい・・・。

そのようなものだと思う・・・。

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

嘘・・・。

「嘘つきは泥棒の始まり・・・。」

とは昔から言われていることである・・・。

一度でも嘘をつく・・・、

その嘘を隠すために・・・、

さらなる嘘をつく・・・。

嘘で塗り固めた人生になる・・・。

そして・・・、

一つでも嘘が暴露されると・・・。

ドミノ倒しのように・・・、

全ての嘘が暴露される・・・。

嘘はつかないほうがいいものであるなあ・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

欲・・・。

人間には・・・、

誰にでも欲がある・・・。

それは当然のことである・・・。

しかしながら・・・、

度を越した欲は身を滅ぼす・・・。

極端な話ではあるが・・・、

「かねーのーためなーらーによおほまころすー・・・。」

ということになりかねない・・・。

「げいのーためえならーによおほまなかすー・・・。」

ならいいのであるが・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

床ずれ・・・。

母が亡くなる直前・・・、

母は入浴した・・・。

床ずれがあった・・・。

初めて気づいた・・・。

「病院の先生に言った・・・？」

「言っていないよ・・・言いたくない・・・。」

そんなか感じだった・・・。

言いたくない気持ちはよくわかった・・・。

それから3日後・・・、

母は旅立った・・・。

忍耐強く控えめで・・・、

優しい人だった・・・。

おかあさん・・・、

ごめんね・・・、

・・・、

・・・、

南無八幡大菩薩・・・。

天網恢恢疎にして漏らさず・・・。

老荘思想にある・・・、

「天網恢恢疎にして漏らさず・・・。」

天の網の目は粗いが、どんな悪も見逃さない・・・、

という意味である・・・。

悪事をなしたものが逃げおおせると思うのは・・・、

間違いである・・・。

絶対に逃げられない・・・、

・・・、

・・・、

南無八幡大菩薩・・・。

母が教えてくれた大切なこと・・・お金は人を狂わす・・・。

先月物故した母は・・・、

大切なことを教えてくれた・・・。

それは・・・、

お金は人を狂わすということだ・・・。

かくいう私も狂いそうになった・・・。

しかしながら・・・、

すんでのところで正気を保とことが出来た・・・。

別に母がお金持ちだったわけではない・・・。

真面目にひたむきに生きた母であった・・・。

自分が欲しいものも買わずに・・・、

家族のためのものを買った・・・。

食べたいものも遠慮して・・・、

残り物で済ませていた・・・。

そんな母は教えてくれた・・・、

「お金は人を狂わす」

ということを・・・。

そして・・・、

お金よりも大切なことがあるということ・・・。

愛とか・・・、

勇気とか・・・、

正義を愛する心とか・・・。

私は母から・・・、

金銭では見積もることの出来ない・・・、

大いなる遺産を譲り受けた・・・。

ありがとう・・・、

おかあさん・・・、

心配しなくていいよ・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

「老子」 兵法の極意・・・その意味がわかりかけた・・・。

少し前に・・・、

「老子」にある・・・、

兵法の極意を読んだ・・・。

それは・・・、

「戦いというものは、仕掛けられて、やむおえず応戦するものが常に勝つ・・・。」

というものである・・・。

その真の意味が・・・、

最近ようやく理解できた気がする・・・。

戦いを仕掛けたり・・・、

嫌がらせをしたり・・・、

卑怯なことをする者は・・・、

必ずその悪事が露見して・・・、

身動きが取れなくなる・・・。

そして・・・、

身の破滅・・・。

だいいち・・・、

そんな輩には・・・、

天が味方しない・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

君子は義にり、小人は利に喩る・・・。

「論語」にある・・・、

「君子は義に喩り、小人は利に喩る・・・。」

その意味がやっと分かった気がする・・・。

「大学」には・・・、

「小人閑居をして不善をなす・・・。」

とある・・・。

とにかく・・・、

楽をして、利益ばかり追い求めている人は・・・、

論ずるに値しない・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

おかあさんって・・・いいひびきですよね・・・。

おかあさんって・・・、

いいひびきですよね・・・。

最近・・・、

やっと・・・、

分かりました・・・。

ありがとうね・・・、

おかあさん・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

行動・・・。

正義は行動により正義となる・・・。

真実も行動により真実となる・・・。

信頼も行動により信頼となる・・・。

行動しなければ・・・、

何も始まらない・・・。

何も生れない・・・、

・・・、

・・・、

南無八幡大菩薩・・・。

裏切らないということ・・・。

先月物故した母を・・・、

父と妹は裏切った・・・。

確証はないが・・・、

多分そうだと思う・・・。

晩年の母の言動から察するのではあるが・・・。

しかしながら・・・、

私は裏切らない・・・。

それを母はよく分かっていたのであろう・・・。

母が私を産んで育てたのだから・・・。

私には・・・、

母は色んなことを話してくれた・・・。

それまで聞いたことのないことを・・・。

父親と妹は・・・、

母を裏切っていたのであろう・・・。

そんな疑念を憶えたのは・・・、

母の死後である・・・。

今では後悔している・・・。

しかしながら・・・、

私は裏切らない・・・。

それを母はよく分かっていたのだろう・・・。

母が産んで育てたのだから・・・。

晩年の母は・・・、

私に色んなことを話してくれた・・・。

それまで聞いたことのない話を・・・。

父と妹が・・・、

母を裏切ったのでは・・・？

そんな疑念を覚えたのは・・・、

母の死後である・・・。

今では後悔している・・・。

母は・・・、

私のようなダメ人間を信じ・・・、

頼りにしてくれた・・・。

逆に言えば・・・、

私のようなダメ人間しか・・・、

信じ、頼る人がいなかったのであらう・・・。

それを思うと不憫である・・・。

「おかあさん・・・心配しなくていいよ・・・おれは・・・裏切らないから・・・。」

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

友情・・・。

最近トラブル続きなので・・・、

パニックになって・・・、

親友弁護士に絶縁状を叩きつけてしまった・・・。

後の祭りである・・・。

許してくれるかなあ・・・、

無理だろうなあ・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

この国の正義を信じる・・・。

ここんどこ・・・、

激ヤバ状態である・・・。

しかしながら・・・、

私は信じている・・・、

この国の正義を・・・。

学生時代・・・、

ゼミの先生は・・・、

元検事であった・・・。

立派な方で・・・、

多くのことを学んだ・・・。

不義理を重ね・・・、

会えずじまいになった・・・。

恥じ入るばかりではあるが・・・、

私は・・・、

この国の正義を信じている・・・。

ありがとうございます・・・、

土本先生・・・。

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

偶然を装った必然・・・。

以前・・・、

ある友人が・・・、

「偶然を装った必然」

という言葉 forcefully していた・・・。

愚禪に思える出会い・・・、

偶然に思える出来事・・・。

しかしそれは・・・、

偶然ではなく・・・、

必然であるというのだ・・・。

当時は何のことだかよく理解らなかったが・・・、

最近・・・、

少しはわかるようになってきた・・・。

彼とは疎遠になってしまったが・・・、

彼から学んだことは多い・・・。

度々私をインスパイアしてくれた・・・。

彼には感謝している・・・。

彼の幸せを祈る・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

自ら之を取る・・・。

致知出版社 「孟子 一日一言」より引用・・・。

「自ら之を取るなり。」

意味は・・・、

「（全ての善悪は）自分が招いたものである・・・。」

ということである・・・。

因果応報というか・・・、

善因善果・悪因悪果というか・・・、

自業自得というところであろうか・・・？

当たり前のことのように思えるが・・・、

案外忘れがちである・・・。

私も・・・、

肝に銘じておくべきだと思う・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

車酔い・・・。

子供の頃は・・・、

車に乗ると・・・、

必ず車酔いした・・・。

バス旅行などでは・・・、

必ずゲロした・・・。

備え付けのゲロ袋に吐いた・・・。

大学生の頃・・・、

高速バスに乗っていた時・・・、

前の座席のサラリーマンが・・・、

タバコを吸っていた・・・。

昔は高速バスの中でタバコが吸えたのだ・・・。

そのサラリーマンのタバコの煙のせいで・・・、

酔って途中で降りた・・・。

そしてトイレに駆け込みゲロした・・・。

就職してから・・・、

車好きの上司に・・・、

富士五湖までドライブに連れて行ってもらった・・・。

ランチャ・デルタ・インテグラールで・・・。

彼は相当な車マニアで・・・、

学習院時代には・・・、

ラリーに出場していたらしかった・・・。

ドラテクも素晴らしく・・・、

ダブルクラッチ・・・、

ヒールアンドトゥを軽くこなしていた・・・。

とんでもないコーナーリングテクニシャンであった・・・。

それはいいのだが・・・、

コーナーリングスピードがとんでもないことになっていたので・・・、

相当な横Gがかかり・・・、

酔って気持ち悪くなった・・・。

それで・・・、

途中で止まってもらい・・・、

降りてゲロした・・・。

「なんだ・・・おもしろくないなあ・・・。」

そんな感じだった・・・。

昼ごはんは「ほうとう汁」をご馳走になった・・・。

妙に美味かった・・・。

それから時は流れ・・・、

私もそれなりの年齢になった・・・。

よく考えると・・・、

今では・・・、

車酔いをしなくなった・・・。

もしかすると・・・、

車酔いをするということは・・・、

若さの証なのかもしれない・・・。

それにしても・・・、

あの元上司は・・・、

今でも元気なのだろうか・・・？

今年に入って・・・、

久しぶりに手紙を書いたが・・・、

未だ返事は来ない・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

「みんなこれ飲んでますよ・・・!!」

今となっては随分と昔の話ではあるが・・・、

就職して間もない頃の・・・、

駅の売店での話である・・・。

二日酔いだったので・・・、

店員の中年女性に・・・、

「ソルマックみたいなありますか・・・?」

とたずねた・・・。

すると・・・、

その店員は・・・、

リポビタンのような栄養ドリンクを差し出して・・・、

「はいどうぞ!」

と言った・・・。

私は・・・、

「いや、これじゃなくて、二日酔いに効くのが欲しいんですけど・・・。」

と返した・・・。

すると彼女は言った・・・、

「みんなこれ飲んでますよ・・・!!」

・・・と・・・。

「そんなことないだろう・・・まあ・・・そういう人も多いかも知れないが・・・今はソルマックが飲みたいんだよ・・・!」

と、心の中で叫んだ・・・。

そして・・・、

当然のことながら・・・、

二度とその売店で何かを買うことはなかった・・・。

今夜ふと思い出した・・・。

あの売店の中年女性は・・・、

今頃どうしているのだろうか・・・？

まあ・・・、

そんなことどうでもいいことではあるが・・・。

随分と時間が経過した今でも時々思い出す・・・、

「みんなこれ飲んでますよ・・・!!」

という意味不明な言葉を・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

ライスバーガー・・・。

今となっては随分と昔の話ではあるが・・・、

就職して二年目・・・、

とある研修所に入所した・・・。

メンタル面に不調をきたしていた私は・・・、

周囲に馴染めなかった・・・。

人付き合いが苦手になり・・・、

昼食は・・・、

外に出て・・・、

近くのモスバーガーに・・・、

毎日通った・・・。

当時・・・、

ライスバーガーが発売されたばかりの頃で人気だった・・・。

私は毎日食べた・・・。

毎日・・・、

毎日・・・、

食べた・・・。

すると・・・、

さすがに飽きてしまった・・・。

ライスバーガーは勿論のこと・・・、

全てのメニューに飽きてしまった・・・。

モスバーガーや・・・、

ライスバーガーと聞くだけで胸焼けしてゲップが出るようになった・・・。

それでしかたなく・・・、

小さなお店で・・・、

パンを買って・・・、

近くの公園で食べるようになった・・・。

時々・・・、

お子様を連れた奥様が来られていたが・・・、

不思議そうに私の方を見ていた・・・。

何だか恥ずかしかった・・・。

それから暫くして・・・、

私は退職した・・・。

あれから随分と長い年月が流れた・・・。

あの公園は・・・、

あの小さなお店は・・・、

あの親子連れは・・・、

そして・・・、

あのモスバーガーは・・・、

今でも健在なのだろうか・・・？

随分と長い年月が過ぎ去った今でも・・・、

時々思い出す・・・。

「ああ・・・あの頃はまだ若かったなあ・・・。」

そんな感じである・・・。

当時は苦しかったが・・・、

今となつては・・・、

何となく・・・、

いい思い出である・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

トム・リプレー・・・。

今となつては随分と昔の話であるが・・・、

学生時代・・・、

「ブレインソレイユ」つまり・・・、

「太陽がいっぱい」を観た・・・。

原作は・・・、

パトリシア・コーンウェルであつただろうか・・・？

アラン・ドロン演ずるトムリプレーは・・・、

完全犯罪を目論んだ・・・。

船の上で・・・、

お金持ちの友人を殺害して・・・、

船から海に投げ込んだ・・・。

偽のサインの練習までして・・・、

完全犯罪を成し遂げたかに思えた・・・。

しかし・・・、

完全犯罪など出来ようはずもない・・・。

投げ込んだ遺体が・・・、

フェリーの錨に絡まって巻き上げられ・・・、

悪字が露見した・・・。

そのシーンの記憶は・・・、

何とも言えない記憶である・・・。

ラスト近くの・・・、

「リプレーさん、お電話ですよ・・・。」

という台詞が・・・、

どういう訳ks・・・。

物悲しかった・・・。

悪事は必ず露見する・・・、

・・・、

・、

積善改過に励もう・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

とあるサスペンス劇場・・・。

今となつては随分と昔の話ではあるが・・・、

子供の頃・・・、

とあるサスペンス劇場を観た・・・。

藤田まことさん演じる男が・・・、

人を殺した・・・。

男は遺体を空き地に埋めた・・・。

埋めたのだが・・・、

その時・・・、

自分の持ち物の何かを・・・、

一緒に埋めてしまった・・・。

うまく遺体を処分したと思っていた男は・・・、

自分の持ち物と一緒に埋めてしまったことに気づいた・・・。

そして・・・、

男の破滅が始まった・・・。

何となくそんな話であった・・・。

やはり完全犯罪など出来ようはずがない・・・。

また・・・、

靈魂の存在もあるのかも知れない・・・。

何となく不気味な話であった・・・、

・・・、

、

南無八幡大菩薩・・・。

へムへムな男・・・。

今となつては結構昔の話ではあるが・・・、

30代後半・・・、

とある公的機関の臨時職員として勤務していた・・・。

私が配属された部署は・・・、

課長をトップとした10名ほどの部署であった・・・。

その事実上のN O・2は・・・、

主幹係長であった・・・。

私の仕事はほぼ雑用だったが・・・、

皆が和気藹々としていて・・・、

楽しかった・・・。

そのN O・2の主幹は・・・、

まあまあイケメンで・・・、

仕事も出来て・・・、

人間性に於いても申し分なかった・・・。

しかしなぜだか・・・、

独り身であった・・・。

まあそれはいいとして・・・、

彼には・・・、

変わった口癖があった・・・。

それは・・・、

デスクに吸わている時・・・、

「・・・ヘムヘム・・・。」

という口癖・・・？・・・であった・・・。

他の職員の方は承知のことだったのであろうが・・・、

私には謎であった・・・。

ただ・・・、

その・・・、

「・・・ヘムヘム・・・。」

は、嫌な感じではなかった・・・。

臨時職員であったので・・・、

当然ながら・・・、

任期が満了して・・・、

その職場を去った・・・。

それから結構な時間が経過した・・・。

あの主幹は・・・、

今でも元気なのであろうか・・・？

そして・・・、

結婚は出来たのであろうか・・・？

そして何より・・・、

今でも・・・、

あの口癖・・・、

「・・・ヘムヘム・・・。」

は・・・、

変わっていないのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

「ヘムヘム」な男のことを・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

総務の女性・・・。

今となつては結構昔の話ではあるが・・・、

30代後半・・・、

とある公的機関の臨時職員であつた・・・。

そこの総務の女性が臨時職員の世話係であつた・・・。

当時・・・、

そこの臨時職員は20歳くらいの若い女性ばかりで・・・、

男性は私一人であった・・・。

そのためであろうか・・・、

その総務の女性は・・・、

私を気にかけて下さった・・・。

誠実でメガネの似合う理知的な女性であった・・・。

そして・・・、

当然のことながら・・・、

任期満了・・・。

最終日・・・、

彼女に挨拶に行くと・・・、

「今まで本当にありがとうございます・・・。」。

と、御礼の言葉を述べてくださった・・・。

本来なら、私が述べるべき言葉であるのに・・・。

そして・・・、

女性らしい・・・、

かわいいメモに・・・、

私に対する労いの言葉と・・・、

これからの私の人生に対する激励の言葉が書かれてあった・・・。

私は感動のあまり泣きそうになった・・・。

そのメモは・・・、

今でも大切にしている・・・。

それから20年ほどの年月が経過した・・・。

彼女は今でも元気なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

総務の女性のことを・・・、

・・・、

、

南無八幡大菩薩・・・。

最後の動画・・・。

今日・・・、

亡き母のスマホをチェックしていた・・・。

「おかあさんは、どんな動画を見ていたのだろうか・・・？」

そう思って・・・、

ユーチューブをチェックした・・・。

すると・・・、

視聴動画のほとんどが・・・、

料理の動画だった・・・。

最後の視聴動画も・・・、

料理の動画だった・・・。

「そういえば・・・おかさんは料理が好きだったなあ・・・。」

「ありがとう・・・おかさん・・・もう一度・・・おかさんの手料理食べたいよおおおお・・・！」

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

最後の料理・・・。

生前・・・、

母は料理が好きだった・・・。

晩年も・・・、

動きづらい体で・・・、

一生懸命、美味しい料理を作ってくれた・・・。

そして・・・、

母が最後に作ってくれたのは・・・、

私がカットしたきゅうりをマヨネーズであえたもの・・・。

それと・・・、

私が切ったトマトをドレッシングであえたもの・・・。

美味しかった・・・。

だが・・・、

私は・・・、

母に・・・、

言っではならないことを言ってしまった・・・。

「余計なことしないでよ・・・!」

・・・と・・・。

母は少しさみしそうだった・・・。

私に・・・、

少しでもおいしく食べさせてあげようと思っていてくれたはずなのに・・・。

そして・・・、

母は旅立った・・・。

私は今でも後悔している・・・。

みなさん・・・、

お母さんを大切にしてください・・・。

お母さんが作ってくださった料理は・・・、

残さずに全部食べてください・・・。

そして・・・、

お母さんが作ってくださった料理に・・・、

不平不満は言わないでください・・・。

お母さんは永遠に生きるわけではありません・・・。

お母さんの作ってくれる料理を・・・、

永遠に食べることが出来るわけではありません・・・。

だから・・・、

みなさん・・・、

お母さんを大切にしてください・・・。

「お母さん・・・ありがとう・・・。」

・・・、

・・・、

南無八幡大菩薩・・・。

正義は勝たなければならない・・・。

正義は勝たなければならない・・・。

何がなんでも・・・。

関ヶ原合戦の直前・・・、

島津義弘は・・・、

石田三成に言い放ったらしい・・・、

「負ければ正義は死に申す・・・。」

・・・と・・・。

そう・・・、

負ければ・・・、

正義が正義ではなくなる・・・。

だから・・・、

正義は・・・、

何がなんでも・・・、

勝たねばならぬ・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

悪人が存在するからこそ・・・自らが正気であると知る・・・。

最近私は・・・、

自らが正気を失ったのではないかと案じていた・・・。

しかしながら・・・、

悪人と相對峙することにより・・・、

自らが・・・、

未だ正気を失ってはいないと知った・・・。

悪人の存在あればこそである・・・。

しかしながら・・・、

悪人は・・・、

絶対に・・・、

許してはならない・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

母のいない母の日・・・。

今年も母の日がやってくる・・・。

しかし・・・、

もう母はいない・・・。

初めての・・・、

母のいない母の日である・・・。

何だか寂しいなあ・・・。

母の好きだった・・・、

お寿司か刺し身を買ってこようか・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

人生は感動ですからね・・・！

今となっては随分と昔の話ではあるが・・・、

学生時代の恩師が述べられた・・・、

「人生は感動ですからね・・・！」

・・・と・・・。

その時は・・・、

恩師の真意を汲み取ることが出来なかった・・・。

しかしながら・・・、

何十年という歳月の中で・・・、

臆気ながら解りかけている・・・。

感動とは・・・、

喜びなど・・・、

良いことのみを意味するわけではない・・・。

悲しみ・・・、

苦しみなど・・・、

人生における全てのことが・・・、

「感動」なのであらう・・・。

恩師の志と・・・、

その恩に報いるために・・・、

仕切りなおして・・・、

精進する・・・、

という覚悟である・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

強くなければ、正しくなれない・・・。

今夜ふと思った・・・、

強くなければ・・・、

正しくなれない・・・。

強くないと・・・、

悪事に手を染めてしまう・・・。

そして・・・、

その・・・、

往生際の悪さは・・・、

吐き気すらもよおす・・・。

やはり・・・、

強くなければ・・・、

正しくなれない・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

正義を愛する心・・・。

私は・・・、

祖母から・・・、

母から・・・、

伊藤栄樹先生の著書から・・・、

河合信太郎先生の著書から・・・、

高橋武生先生から・・・、

中野次雄先生から・・・、

そして・・・、

何より・・・、

土本武司先生から・・・、

正義を愛する勇敢な心を学んだ・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

強いということ・・・あるいは・・・勇気ということ・・・。

強いということ・・・、

あるいは・・・、

勇気がある・・・、

ということは・・・、

恐怖を感じないということではない・・・。

少なくとも私はそう思う・・・。

誰しもが・・・、

恐怖を感じる時がある・・・。

全く恐怖を感じないとすれば・・・、

その人は異常なだけである・・・。

恐怖を感じながらも・・・、

自分を見失わずに・・・、

真実に向かって・・・、

一歩一歩進んでいく・・・。

それこそが・・・、

強いということ・・・、

あるいは・・・、

勇気ではあるまいか・・・、

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

其の揆一なり・・・。

致知出版社「孟子 一日一言」より引用・・・。

「先聖後聖其の揆一なり・・・。」

意味は・・・、

「先の聖人（舜）も後の聖人（文王）も、（生まれた土地や時代にかかわらず）その行った道は全く同一である・・・。」

ということである・・・。

正しいことをするのに、時代や場所は関係ない・・・、

つまり・・・、

何時の時代でも、どこにいても・・・、

正しいことは出来るということであろうか・・・？

・・・、

・、

南無八幡大菩薩・・・。

こころの覚書

著 者 tomo4307

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
